

## 横浜国大剣友会 幹事会 議事録

日時 : 2016年8月9日(火)

場所 : くいもの屋わん 川崎東口店

出席者 : 宮部先輩、幡野先輩、岩城先輩、石川先輩、木村先輩、有竹先輩、中川先輩、丸尾先輩、樺山(記)

### <議事>

#### ①募金活動の具体的な方法について

・大学を通して寄付として体育会剣道部への支援が可能か確認してみてもどうか。寄付する側も寄付金控除を受けられるメリットがある。

⇒ 国大にも寄付金を受けられる窓口はあるが、目的を限定(剣道部のためになど)ができるか大学側への確認が必要なので、確認する。

・特別積立金の目標額を設定し、幹事全員が目標達成に向けて動くべきである。

⇒ 報告書にもあるように、200万を目指すでもいいのではないかな。

⇒ 現状の会費納入状況から推測すると、一人3口以上の寄付をお願いしないと達成困難である。

⇒ 一旦、目標として上記200万とすることで進める。

⇒ 3か月に一度チェックしていくので状況見て適宜フォローする。

・特別積立金の趣旨の再定義が必要。

⇒ 趣旨が学生支援に偏りすぎているように読めるため、OB同士の交流・親睦にも利用できるようにする意向を加えてはどうか。

⇒ 剣友会は、OB親睦と学生支援を両輪にしていることをアピールできるよう文面を再考する。

⇒ 修正完了後、8/22週までに封書またはメールにて剣友全体へ展開する。

・特別積立金の利用用途について

⇒ OBの親睦の観点から、10年目、20年目といった節目のメンバの招待費用とするのはどうか。

⇒ 同様に、年配のOBの招待費用にあててはどうか。

⇒ 今後検討していく。

## ②50周年の行事内容の提案方法について

- ・年次が石川幹事長以下のメンバを中心とした50周年事務局を開設する。
  - ⇒ 事務局長は有竹幹事とする。
  
- ・人数目標は200名とする。
  - ⇒ 場所の確保が急務。(石川)
  - ⇒ 以前利用した重慶飯店が利用できないか確認する。
  - ⇒ 前回と同じ会場が利用できそうなので、確保予定。
  
- ・総会への招待メンバについて
  - ⇒ 前回同様、国大学長、各学部長でよいのではないか。
  - ⇒ 横浜市大のOB会役員も招待してはどうか
  - ⇒ (全員賛同)
  
- ・総会に向けた記念品について
  - ⇒ 一人千円程度で考える。
  - ⇒ 無償ではなく、有償化して売り上げを寄付金に上乗せしても良いのではないか。
  - ⇒ 今後事務局で検討を進める。
  
- <その他>
  - ・年会費の免除について
    - ⇒ 卒業50年を節目に会費免除とするのはどうか。
    - ⇒ 50~60歳を目安に一括納付(今後の納付額の80%)で永久会員などしてはどうか。
    - ⇒ 50周年の節目でできそうなことは検討する。

以上